

<運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社 在宅ナースの会	事業所名	複合型サービスふくふく寺前
所在地	(〒236-0014) 横浜市金沢区寺前2-5-38		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるように全職員が意識し支援していきます
- ・ 医療ニーズの高い方や退院直後の方に効果的なサービスの提供を行い、様々な病状や状態であっても在宅療養を総合的に支援します
- ・ 24時間365日臨機応変・迅速・柔軟なサービスで在宅生活の支援を行います
- ・ 地域との連携・協議・共存を目指し、看多機が存在意義が地域に根付くよう努力していきます
- ・ 十分な感染防止対策を実施し、サービスの提供が止まることなく継続できるよう感染予防防止策を徹底します
- ・ 職員研修や、外部研修、オンライン研修等を通して知識や技術の向上に努めると共に自主研修にも積極的に参加します

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦2023年__12月__16日	従業者等自己評価 実施人数	(__18__)人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	-----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦__2024年__3月__14日	出席人数（合計）	(__9__)人	※自事業所職員を含む
-----	--------------------	----------	----------	------------

出席者（内訳）	☒ 自事業所職員（ 3人） ☐ 市町村職員（ 0人） ☒ 地域包括支援センター職員（ 1人） ☒ 地域住民の代表者（ 2人） ☒ 利用者（ 1人） ☒ 利用者の家族（ 1人） ☒ 知見を有する者（ 1人） ☐ その他（ 人）
---------	---

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 （評価項目1～10）	① 年間目標・計画を基により良いサービスの提供ができるよう努力する。受け持ち担当制での関わりを意識的にを行い、個別性のある支援が計画的に行える ② 会議等の情報がタイムリーに伝わるよう回覧方法を検討する。情報の集約、共有が迅速に行えるシステムづくりを実施する ③ 心身ともに休まる時間の確保と場所づくりの提供 BCP策定取り組み、マニュアルの準備	① 年度初めに年間目標・計画を基に個人目標を定めた。受持ち担当制を導入し、利用者様の背景や家族の思いなども取り入れ、支援の基になるよう送迎に同行する機会を増やし自宅訪問を行った「かながわベスト介護セレクト20」に応募した ② ミーティングノートを活用し既読後はサインをするように徹底した。 ③ イベント時は特に休憩時間の確保が難しい為、短時間でも交代で休息が取れるようにリーダーを中心に采配を行った。休憩室の確保がハード的に難しい為、面談室等の空時間は利用を勧めた ④ 防災委員を中心とし、定期的な防災訓練の実施と防災用具・備蓄品の整備を行った。BCP作成中	① 「かながわベスト介護セレクト20」に選出されたことはスタッフのモチベーションが向上し自己啓発の機会となった。成果が見える化したことで、更に質の向上を目指す自覚が養っている。このことは利用者様へのより良いサービスにつながっておりタイミングを逃すことなく介護支援が行えている ② ミーティングノートを積極的に活用し情報を自主的にとるように職員が意識できている ③ イベント時には声掛けを積極的に行い休憩時間を取れるように努力している。利用者の状況で休憩が取れないことがあるが変動的に休憩時間を配分し対応している ④ BCP作成に当たり研修や外部の事業所の情報収集を行い近隣の事業所とも協力できる体制が取れるシステムの構築づくりの仕組みづくりが必要

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)	① 看護職・介護職の円滑なコミュニケーションが図れることにより、利用者・家族にきめ細やかな対応ができ、小さな変化にも対応できるサービス提供を目指す ② 利用者・家族が利用内容を理解し、安心して利用できるようわかりやすく説明する ③ ACP活用で予後予測への考えを共有しあうことで安心して利用でき、意見しやすい環境をつくる	① 新規利用者の情報はミーティングで共有し、重要事項はメモに残し伝達している。利用者・家族の状況はタイムリーに多職種で情報共有し、利用者やご家族の小さな変化にも状況に応じた対応ができるよう意識して行っている ② 利用者・家族に対して、サービス内 容について具体的な事例を用いてわかりやすく説明を行った ③ ACP用紙を活用し、今後起こりうるリスクや希望について互いに共有することができた	① タイムリーな情報共有することで、変化に気付く視点を持ち対応できている。利用者・家族が安心して利用できている ② 具体的なプランを提示し説明を行い不明点等に対してはいつでも確認できることを伝えている ③ ACP用紙の活用で情報の幅を広げ、職員全員で共有することができた。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)	① 主治医、薬剤師、理学療法士、訪問看護ステーション等多種多様な支援ができるように連携を密にする すべての利用者の緊急対策を医療機関と連携し、希望に沿った対応ができるよう体制づくりを行う	① 多職種が持つ特殊性を最大限発揮できるよう意識した。状態変化がある際や、家族が選択する場面では多職種での介入を積極的に行った ご家族には身体の状態を日々連絡ノートや電話連絡で状態経過を共有している	① 多職種で情報共有する事で利用者や利用者家族が安心でき、より良いサービスを受けられることにつながっている。当事業所以外の様々なサービスの紹介や提案ができしており、地域の中での役割が果たせている

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目32～41）	① 喀痰吸引や認知症研修など専門的な資格の習得ができるよう支援する ② 組織力強化のために個々の研修計画を立て人材育成を行っていく ③ 進行性難病・人工呼吸 終末期の専門的なサービスが必要な利用者も受け入れができる体制を維持し、受け入れを行っていく	① 資格習得研修に積極的な参加を促し専門的知識の向上に努めている ② 社内研修や外部研修を通して看護小規模多機能型サービスの地域における役割を理解し実践している 看護師特定行為研修に参加し人材育成計画を実践した ③ 専門的なサービスが必要な場合も看護・介護職員とも情報を共有し、特別な処置が必要な時は指導実践を行いながら安心して受け入れができるように支援した	① 資格習得の研修に参加することで、自信を持ってサービスの提供ができるようになっている ② 運営推進会議等で研修容を伝達したり、地域・外部へのアピールを行った。看護師特定行為が実践できることで、受け入れる利用者の幅が広がり実践的な理解力、思考及び判断力、専門的な知識の習得につながった ③ どのような状態の方も安心して受け入れられるよう準備し対応を行った
III. 結果評価 （評価項目42～44）	どのような状態の方も住み慣れた地域で生活を継続できる体制を維持し、質の高いサービスの提供を行う。感染予防対策を継続し、サービスの提供が止まることが無いよう努力する	様々な疾患や家庭環境支援体制がある中、その方にあった支援をタイムリーに行うことができる看護小規模多機能居宅介護の在り方を日本在宅医療連合学会で発表を行った。地域の方々が安心して在宅生活を送れるようになる為、各関係機関との関わりを密にとり、総合的に支援していく 感染予防対策を実施しサービスの提供が止まることはなかった	看多機の支援内容を広く知ってもらうための機会となり、学会発表がセレクト20でも評価された。 地域でも安心して利用できるような事業所の位置付けとなっている 看護小規模多機能居宅介護事業所としての質の向上に今後も努力が必要である

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
----	------	------

I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)	① 「かながわベスト介護セレクト20」に2年連続受賞したことは、これまでのスタッフの介護への努力が認められた結果であった。受持ち担当制を導入し個々に目標設定を行い介入が必要な場面では他のスタッフを巻き込み良い状態となるような働きかけができるようになっている。 ② 職員間の情報共有・提供が迅速かつ円滑に行えるよう継続し自主的に情報収集ができるよう引き続き努力する必要がある ③ 心身共に休まる休憩時間の確保と場所の提供づくりに努力し、利用者の状態で休憩ができないときもスタッフで配分しながら対応している ④ 町内の行事にも参加し近隣住民との共同を思考する機会となった。BCP作成に当たり外部研修や、他事業所の情報収集を行い準備している。	① 事業所目標を軸に個々に年間目標を立て、質の向上の為に1年後のあるべき姿をイメージできる ② 職員間の情報の共有や意見の提示が円滑かつ迅速に行えるようにする ③ 心身ともに休まる時間の確保と場所の提供づくりに努力する ④ BCPを基に災害時、緊急時にもサービス提供ができるための高い意識と対策の構築
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27) ① 新規利用者や、状態の変化が見られる利用者については常に情報共有し、小さな変化のにも対応できる眼を持てるようにしている。安全に在宅生活が送れるような支援ができています ② 利用にあたり具体的なプランを提示し説明を行っているサービスの趣旨及びサービス計画の内容を利用者・家族にわかりやすく説明し理解していただいている ③ ACP用紙の活用により情報の幅が広がり職員全員で共有することができています 2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31) ① 多職種が持つ特殊性を最大限発揮し多様な連携支援ができています ② 全職員が対応可能な状態を構築し、統一した対応ができるよう医療機関と連携ができています	① 受持ち担当制を確立し、日々の変化や小さな気づきをスタッフや家族と共有でき、個別性を重視した支援方法を提供する ② 利用者・家族が利用内容を理解しやすい様に具体的にプランを提示し、安心して利用できているようわかりやすく説明する ③ ACPで利用者・家族の予後予測への考えを共有しあうことで、その方の望む暮らし方に添えるよう活用を継続する ① 利用者・家族を取り囲む主治医、薬剤師、理学療法等と多種多様な支援ができるようにし、近隣の事業所とも協力できる体制づくりを強化する ② すべての利用者の緊急時対策を医療機関と連携し、全職員で対応可能な体制づくりをする

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目32～41）	① 資格習得後も実践を通して研修し自信を持ってサービスの提供ができるよう支援できている ② 社内研修によりサービスの重要性、事業所の位置付けが理解できるようになっている ③ 人工呼吸器・終末期の受け入れができる体制を維持し、積極的に受け入れができている	① 医療依存度が高い方だけでなく、認知症・看取り等専門的なサービスが必要な方を受け入れる為の専門的資格習得を維持する ② 定期的な研修を継続的に行い外部研修に積極的に参加できるよう支援し職員の質の向上に努める ③ 専門的な支援が必要な利用者の受け入れができる体制を維持する
Ⅲ. 結果評価 （評価項目42～44）	感染対策に留意しながらサービスの提供が止まることなく行えた。各関係機関と連携を取りながらどのような状態の方でも住み慣れた地域で最期まで生活することを支援できる事業所として最善の支援を提供している	退院直後の在宅療養生活へのスムーズな移行支援を行い、高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的のもとで、住み慣れた地域で安心して生活を継続できる体制を構築し、質の高いサービスの提供ができるように全職員が意識を高める

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(１) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1 3	3	0	0	・医療依存度の高い方も安心して利用できます ・近くにふくふくの様な事業所があると地域の方も安心してすね	居心地の良い場所づくりや安心して過ごせる場所づくりを心掛けています 医療処置の多い方でも請けいられる体制づくりやご家族枝の支援を心掛けています
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1 1	5	0	0	ふくふく便りを拝見しても皆さんが楽しそうに過ごしていることがわかります	・理念を廊下・事務所に掲げいつでも閲覧できるようにしている ・職員全員が意識し実践できるようにしている
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりでき て い ない	全く でき て い ない		
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	6	8	1		・スタッフの育成計画もきちんとできている。離職率が低いことも良い職場環境であると言えます	所内研修も年間計画が立案されている 個別計画も立てられている
		[具体的な状況・取組内容] ・おおよそ出来ているが、個人目標を定められるとなお良い。 ・年度初め、中間に面談を行っている。 ・年間の研修計画がありレベルアップのための外部研修への参加も促している。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	10	5		1	・研修参加率も大変良いと思います	必須研修への参加は研修委員を中心に行い、外部研修にも積極的に参加するよう促している
		[具体的な状況・取組内容] ・研修には積極的に参加している。自己啓発に努めている。 ・研修案内のお知らせ等、掲示されており個々に参加している。 ・研修委員が中心となり、積極的に参加できている。 ・ZOOMを導入した事により参加率も上がっている ・外部研修に参加し、伝達講習も行っている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専	8	7	1	0		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	門員の間で、職員が相互に情報 を共有する機会が、確保さ れている	【具体的な状況・取組内容】 ・ミーティング内で看護、介護、ケアマネ、 三者の情報共有が行えている。 ・朝のミーティングでの情報共有が出来てい る。参加出来ないスタッフ等の為、ミーティ ングノートの活用をしている。 ・問題があればその都度、話し合いを行って いる。				・連絡ノートをつまぐ活用で きています	・毎朝ミーティングを実施し情報共 有している ・重要事項はOJTを活用しスタッフ の言葉で発信し伝える力をつけてい る
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	7	6	3		会議に参加されていない職員にも周知できると良いと思います	・運営推進会議の報告を基にいかにサービスにつなげられるかを話しあっている ・防災関係については運営推進会議の情報が有力である
		【具体的な状況・取組内容】 ・会議で得た意見等はミーティングにてしっかり申し送り、サービスへ反映出来ている。 ・会議内容を閲覧出来るがそれでは良くわからない。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことが	5	9	2	0	休憩時間が確保できる人員配	・行事の際は、休憩時間を決めてい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない			
	できる就業環境の整備に努めている	・皆で協力し合い配慮できている。 ・体調不良時は安心して休める環境がある。・ ・その日の状況により時間内に仕事が終わらない時もある。 ・休憩時間や有給も確実に取れているわけではない。 ・病欠した時は有給休暇を取得できるが、それ以外ではできていない。				置ができると良い しかし介護職員不足はどの事業所でもある	ても利用者の見守り等で時間通りに休憩できないこともある為、課題である ・感染予防対策はいつでも危機感を持ち対応している	
(4) 情報提供・共有のための基盤整備								
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備								
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	9	0	0	夜勤者への情報共有への工夫がみられる	・ミーティングを聞くだけではなく参加型にし、皆が共通理解できるように努力している	
		【具体的な状況・取組内容】 ・言葉だけで伝えず大切な事はメモに残したりして伝える。 ・申し送りノートやミーティングでの情報を共有している。 ・スタッフからの情報提供により行えている。 ・夜勤者への申し送りも看護師、介護士それぞれの視点から申し送っている						
(5) 安全管理の徹底								
① 各種の事故に対する安全管理								

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
9	○ サービス提供に係る利用者等 および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	8	9	0	0	事故やヒヤリハットの振り返りは再発防止になる為大切だと思います	・ 事故検討委員会を中心に1月ごとにヒヤリ、事故の振り返りと改善計画 目標設定評価を実施している
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 事故報告やヒヤリハットをミーティングで共有し対策を立てる。大きい小さいに関わらず事故を検討する事で、再発防止を行っている。 ・ インシデント、ヒヤリハット等、朝のミーティング以外でもその都度報告し話し合いがされている。 ・ 事故検討会を開き原因や今後の対策も話し合っている。 ・ 事故の振り返りを行い、次月の目標も決められている。							
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	4	10	2	0	・ 町内の防災訓練に参加していただきました。地域で顔が見える関係性を続けていけたらと思います	定期的な防災訓練により緊急時に対応訓練を実施しているが、不定期に行うことも検討する
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 防災訓練を積極的に行い、緊急時に備えている。 ・ 防災員を中心に、年2回の定期的な防災避難訓練を実施している。 ・ 災害時等の為の備蓄が確保されている。 ・ 町内の防災訓練にも参加し緊急時の対応を体験している。							
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1 2	4	0	0	看護・介護が協働し対応できているを思います	・自宅で安心して過ごせるようサービス利用中に心身ともに整えてから在宅に戻れるように支援している ・受持ちの介護職員を中心に介護計画が立てられるように努力している ・その方の背景を知る為に、自宅への訪問を積極的に実施している
		【具体的な状況・取組内容】 ・看護、介護が共同して24時間体制で支援出来ている。 ・利用者・ご家族共に24時間体制である事を把握されている。 ・記録、計画書に目を通すよう心掛けている。 ・介護者の状況によって泊りだけではなく、夕食を食べて帰る事や、早くお迎えに行く等、個別の対応が行えている。 ・宿泊サービスの利用により夜間の様子を把握する事ができている。 ・訪問や送迎時に自宅での様子をみたり家族より情報収集できている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの	7	8	1	0	各職種の特徴が活かされている	・看護、介護のコミュニケーション

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ミーティングで共有出来ているが、十分ではない。 ・声掛けをしながらヒヤリハット、インシデントを防いでいる。風通しの良い職場、共有している。 ・お互いの立場での意見交換ができている。 ・同じ視点でケア出来るよう情報共有もできている。				多職種の協働ができていることは良いと思います	がしっかりとれている お互いの気づきを伝えあえる関係性 でいられるようにする
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	9	6	0	0	ケアマネジャー中心に希望の聞き取りができている	個々のファイルの見直しもされており、計画の修正もできている
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ACPを利用する事で本人、家族の意向が確認出来ている。 ・訪問や電話でも意見を聞き、把握することが出来ている。 ・アセスメントでご本人、ご家族からの意向を伺い希望に沿った計画を作成している。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限	8	8	0	0	利用者等が「自己実現」を	「自己実現」を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	【具体的な状況・取組内容】 ・リハビリが十分に行えていないが、日常生活を行う中でのADL向上は図れている。 ・ADLの低下しないように全体体操の他にも看護師によるリハビリ(ストレッチ)等を行っている。 ・身体機能の維持回復の為、機能訓練を取り入れている。専門職(PT・OT・ST)がいれば良いなと思う。 ・利用者様それぞれに応じたADLの向上へと結びつく計画、目標の作成ができています。 また状態の変化が生じたときには意見も言える環境になっている				・利用者家族として蘭楽ノートの存在はとても大きく、知りたい情報もちろん、家族が知らない一面まで事細かく記載してありとても助かっています	レク担当がミーティング時に本日のレクリエーションの内容を発表している それぞれ工夫を凝らした内容である
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	7	9	0	0	家族とも情報共有することが大切です	状況変化の予測をし必要時は主治医に報告している
		【具体的な状況・取組内容】 ・考えられるリスクは家族と共有している。計画に反映している。 ・常に状態を把握し、主治医、管理者、ケアマネ等に相談しながら行っている。 ・主治医や看護、多職種との連携、情報共有により予後予測を踏まえ作成変更をしている。 ・小さな変化でもご家族に伝えられるように努めている。					
（２） 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的	6	7	3	0		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・状態の変化にはタイムリーに対応し、変更の必要があれば計画変更を行っている。 ・看護計画の評価を月1回行い再作成している。 ・ケアマネを通して計画を立て直している。 ・状況変化への迅速な対応が来ている。介護、看護より変化があった時にはすぐに情報共有し、対応策が話し合われ、計画へ反映出来ている。 ・日々の関わりの中で状態の変化を把握し情報も共有できている。				家族への伝達がノートを利用し活用できている	・日々の変化の中で小さな変化も家族に報告するように心掛けている
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	8	8	0	0	家族との情報共有もしっかりできています	・送迎時にも一日の様子を伝えられるようにしている
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・訪問し自宅での様子を確認すると共に、ふくふくでのご様子を伝えている。 ・自宅、ふくふくで情報交換し把握できている。 ・訪問以外にも送迎時家族と話す機会も多く、生活状況を1日1日把握する事が来ている。 ・必要に応じ訪問を行っている。状況に応じて泊りを行ったりと柔軟です。 ・泊りを全く希望されない利用者様もいるが体調変化等に合わせたの泊り利用等、生活状況の把握に努めるようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	7	9	0	0	主治医との情報共有を行えています	・日頃より連携を持ち問題が発生した際は関係機関に連絡している
【具体的な状況・取組内容】 ・看護師、ケアマネが同席し、家族、主治医との情報交換を行っている。 ・家族、医療機関等に報告し共有が出来ている。 ・主治医を含む多職種との連携、情報はリアルタイムで連絡をとる事が出来ている。							
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	13	3	0	0	柔軟に対応していると思います	それぞれの専門的な研修を受けることにより、医療行為が必要な方もサービス提供ができるようになっている
【具体的な状況・取組内容】 ・それぞれの職種が協力してケアに当たっている。 ・専門職として役割をいかせている。 ・それぞれの職種が自身の役割を認識し行動出来ている。また、手の空いた時には声掛けし協力出来ている。							
20	○ 利用者等の状況について、介	12	4	0	0	連携は取れているが、柔軟な対応はできていない	介護の不足があれば看護師が、看護

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない			
	看護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	【具体的な状況・取組内容】 ・事故防止につながる為、積極的に共有している。 ・お互い協力し理解しあい関わる事が出来ている。 ・一人一人の利用者の情報は細かい事も話し合い共有している。 ・ミーティングを活用し情報共有の中、対応策についても検討が出来ている。				情報共有は大切です	のケアに手が足りない時は介護が協力している	
② 看護職から介護職への情報提供および提案								
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復などの 観点から、情報提供や提案等 を行っている	1	1	5	0	0	情報共有できていると思いま す	医療ニーズの高い方への対応は夜勤 者も安心して対応できるよう伝達を 行っている
（４）利用者等との情報及び意識の共有								
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供								
22	○ サービスの趣旨および特徴等	9	6	1	0			

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・様々な利用方法を提案している。 ・サービス提供の範囲、可能な事不可能な事を伝え理解して頂けるよう努めている。 ・見学時、契約時以外でも適時対応している。また、個々に合わせて分かりやすい説明を行い同意を得ている。 ・認知症の方もいる為、全ての利用者様の理解に至っていない事がある。				しつかり説明ができていると思います	具体的なケアプランを提示し、様々な利用方法も提案し理解が得られるよう取り組んでいる
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	8	7	1	0	連絡ノートが自宅で過ごすうえでも重要な情報となっており、細やかに記載されており助かっています	丁寧な説明を行っている
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・わかりやすく説明されている。 ・変化や更新等に合わせて訪問し、説明と同意を得ている。 ・認知症の方もいる為、全ての利用者様の理解に至っていない事がある。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	11	3	1	0	指導にも時間がかかると思いますが、よく対応していると思います	手技に関する内容で不安がある際は自宅で指導を実施している
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者、家族が不安なく行えるよう説明し、再確認も行っている。 ・本人家族と相談し、可能な事は出来る限り利用者様自身で扱えるよう促している。 ・必要時、訪問時や来所された時にケア方法や処置方法の指導や助言に努めている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表	12	4	0	0	理解がない（同意できない）	訪問時や家族の来訪時に確認し、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	【具体的な状況・取組内容】 ・主治医も含め話し合い、不安の軽減に努めている。 ・スタッフが共有出来るよう希望や意向が記録されたファイルがある。 ・終末期等、変化に応じカンファレンスを行い、意向を把握し希望に寄り添ったサービス提供が出来ている。				情報共有は大切ですね	訪問時や家族の来所時に確認している
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	10	6	0	0	希望に沿うことは大変ですが良く意向を聞き対応されています	・今後起こりえる事への予測を伝え相談しやすい環境づくりをしている
		【具体的な状況・取組内容】 ・利用者、家族との連携を怠らず相談し共有が出来ている。日々の小さな変化も伝えられている。 ・カンファレンス時で今後の想定、意向をしっかり共有できている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	11	5	0	0	記録に残すことが大切です	医師の説明の基、不安なく最期を迎えられるように記録している
		【具体的な状況・取組内容】 ・主治医からの説明について記録している。本人家族の意向も伺い記録に残し、全職種が把握出来るようにしている。 ・ACPの活用。状態変化に伴うプラン変更の実施を行っている。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報	13	3	0	0	退院時共同指導に参加し、必要	・主治医薬剤師とも連携は常に行っ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	【具体的な状況・取組内容】 ・カンファレンスに参加し情報を得ている。退院前には状態の確認を行っている。 ・退院時カンファレンスにおいて情報共有、今後の課題、留意点等連携が出来ている。 ・安心して在宅生活に移行できるように努めている。				な情報収集をし、利用にあたりスタッフに情報提供し連携に努めている	ており、在宅生活の不安がないようにきめ細やかに支援している ・医療機関とも十分に情報共有している
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有できている	9	7	0	0	緊急時の対応を共有することは大切です	すべての利用者に主治医から訪問看護指示書を頂いている
		【具体的な状況・取組内容】 ・緊急時の連携を図っている。状態変化等その都度報告し共有出来ている。 ・病院、主治医、看護師等との連携をとっている。 ・看護を中心として、主治医との連携、情報共有、事前相談出来ていて迅速な対応が出来ている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	11	4	1	0	24時間対応してもらうのは本人家族にとってもあんしんできると思います	24時間緊急時の対応を行っている
		【具体的な状況・取組内容】 ・利用者のファイルに一目で分かるように連絡先が記されている。夜勤者にも申し送り、早めの対応出来るように引き継いでいる。 ・長期休み前等に医療機関の緊急連絡先等を確認している。 ・緊急時等の受け入れ態勢が構築されていて迅速な対応に繋がっている。 ・往診医がいない利用者様もあり、休日夜間等には難しい場合もある。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	6	9	1	0	有意義な内容で、地域の情報を伝える場にもなっている。 対面で会議ができる事で顔見知りの関係性が保てている為良いと思います	・包括支援センター職員・民生委員の方々に出席していただき様々な情報提供や提案が行われている
		【具体的な状況・取組内容】 ・地域の活動状況がわかる意見交換が行われている。 ・2ヶ月に1回実施されており、提供実績の報告だけではなく、地域の情報意見交換が行われている。 ・地域の行事にも参加させていただいている。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信が、 迅速に行われている	4	8	4	0	地域の情報を共有でき るよう に できていると思います	会議後にファイリングしているが、 来訪者も自由にみられるよう玄関に ファイルを移動した
		【具体的な状況・取組内容】 ・会議で話された内容についてミーティングで報告されている。 ・記録は毎回ファイリングし、誰でも見る事が出来るよう周知している。 ・迅速に行えるように努めている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	13	1	0	様々な取り組みやセレクト20 で表彰されたことをもっとア ピールしても良いのではない か	地域への宣伝活動を広げるために、 敷地内へ掲示板を取り付け、事業所 内での活動を広報するようにした
		【具体的な状況・取組内容】 ・サービスや理解を広めるために近隣住人にパンフレットを配布している。 ・掲示板を設置する事により日々の様子や活動内容を掲示している					
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2	4		9	特になし	事業所内の利用者への対応のみで、利用者以外の依頼は受けていない
		[具体的な状況・取組内容] ・人員的に難しいと感じる。 ・登録者以外への訪問に対し看護体制が整えられていない。 ・現在依頼はない。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1 4	2	0	0	専門的な資格の習得を進めており医療依存度の高い方の受け入れ態勢が整っていると思います	現在勤務している介護福祉士は全員喀痰吸引資格を習得している
		[具体的な状況・取組内容] ・法人として研修へ積極的に参加させている。 ・介護士は喀痰吸引研修を受講し、看護師は常時指導している。 ・喀痰吸引研修を修了している職員が多く配置されている。また、看護職員の配置体制が整っている。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1 4	2	0	0	スタッフの質や基準が高いと思います	利用者が安心できるように研修を行い 夜間対応時には看護師にいつでも連絡できる体制を取っている
		[具体的な状況・取組内容] ・安心して通いサービスが利用出来るよう支援しています。 ・看護、介護が協力し安全な入浴も実施できている。ADL全てにケアが必要だが支援出来ている。 ・人工呼吸器の講習も実施している。					
37	○ 「看取り支援」を必要とする	1 2	4	0	0		看取りに対する職員の意識が強く

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	【具体的な状況・取組内容】 ・その役割を遂行出来ていると感じています。 ・最後まで安心して利用頂けている。 ・家族の意向を伺い安心して看取りの出来る体制が整っている。 ・ご家族が希望されれば一緒に泊まって頂く体制も取っています。				積極的に看取りを実施していると思います	受持ちを中心に働きかけができるようになっている
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	4	9	2	0	地域との関りも取れていると思います	地域包括ケアの重要性をミーティングや研修で説明している
		【具体的な状況・取組内容】 ・研修などに参加し看多機の役割等の理解に努めている。 ・社内研修時に話し合えるように努めている。					
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて	8	8	0	0		金沢区全域でのサービスを実施して

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	て、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	【具体的な状況・取組内容】 ・特定の集合住宅に限定したサービスは行っていない。 ・送迎時間等、利用者様の負担を考慮して対応しています。 ・送迎時間等も本人家族の希望に沿ったサービスが行えてる。 ・限定せず積極的に提供できている。同区内でも広範囲で提供出来ている。 ・依頼があり、十分なサービスが出来る場合は積極的にサービス提供できている。				積極的にサービスを行えていると思います	いる
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案等 が行われている	3	9	2	1	地域との情報共有が行えてい る	地域との関りを積極的に行っている
		【具体的な状況・取組内容】 ・地域と協力した避難訓練の実施。 ・地域での多職種の会議や研修、集まりへ積極 的に参加している。 ・運営推進会議でも地域の方々との情報共有 や提案が行われている。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出しや 向上のための具体的な取組等 が行われている	2	11	2	0	いつでも相談できる体制が整 っていると思います	自宅や事業所での指導を実施してい る
		【具体的な状況・取組内容】 ・地域への広告活動は余り行っていない。 ・アドバイスや指導助言を適時行い、介護力 の引き出しや向上に繋がっている。 ・適切な福祉道具の利用も助言等を行ってい る。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりでき て い ない	全く でき て い ない		
番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価							
① 計画目標の達成							
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ 立てられている。 ・ 利用者、家族の状況変化を見逃す事なく、目標に向けて支援している。 ・ 個々に合わせた柔軟な対応が出来、目標達成に繋がっている。				1. 8 2. 8 3. 0 4. 0	状況変化に対応した計画を立てている
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感							
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない				1. 12 2. 4 3. 0 4. 0	状況に応じて臨機応変対応し 泊りや通いの追加を行っている 多職種で連携し安心して過ごせるような努力をしている

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・具合の悪い時は泊りを追加し、身体状態の管理に努めています。 ・多職種と連携がとれており安心感が得られている。信頼関係も得られている。 ・今まで看取った家族からの感謝のお気持ちが届いている。 ・在宅生活が継続出来るように支援出来ている。					
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない				1. 14 2. 1 3. 1 4. 0	看取りの不安が軽減するように家族の立場に立ち、自宅での看取りが困難な場合は事業所での看取りに変更したり希望に添えるようにしている 希望時は家族の付き添いも行い満足した看取りができるように支援している
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・自宅への訪問を集中的に行い、家族に対し安心感が得られるよう支援しています。 ・事業所への信頼と共に安心感が強く得られている。 ・介護力等から自宅での看取りが困難な場合は、ふくふくで安心して看取りが行えるようにしている。					